

五條市教育広報

夢志のひろば

MU-SHI

編集・発行 五條市教育委員会 ☎0747-22-8751

637-0083 五條市下之町 21 番地

もくじ

- 1 面 奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭について
- 2 面 学校紹介
- 3 面 学校紹介
- 4 面 教育委員会から

子ども未来課

「五條市学校適正化基本計画」及び「五條市立認定こども園整備基本計画」を策定

五條市教育委員会では、公立小中学校の立地・配置、学校規模の適正化を目的とした「五條市学校適正化基本計画」と、現在の公立幼稚園・保育所を認定こども園として整備し、教育・保育の質の向上、子育て支援の充実を目的とした「五條市立認定こども園整備基本計画」を平成30年6月に策定しました。

子どもの健やかな育ちと子育て支援の充実には、幼保・小中の連携が重要であることから、0歳から15歳までを連続した教育期間ととらえ、子どもの一貫した育ちを支える環境づくりを目指していくこととします。また、保護者だけでなく地域の方々にも五條市の教育・保育環境について広く周知していくとともに、地域と協働でこれからの教育・保育のあり方について考えていきます。

※両基本計画の説明会を8月1日から21日までの間に、市内8会場で開催しました。

※両基本計画は、市ホームページをご覧ください。閲覧場所の子ども未来課、児童福祉課、西吉野・大塔支所、市内公立小中学校、幼稚園・保育所（園）、中央公民館でご覧いただけます。

今後の予定

- ◆学校適正化関係
- 平成30年9～10月 学校総合協議会（部会）の開催
- 10月以降 統合する学校の児童生徒同士の交流等の実施
- 平成32年4月 第1段階の統合、中学校（五條中、野原中、西吉野中）、小学校（宇智小、阿太小）
- 平成33年4月 第2段階の統合、小学校（野原小、阪合部小、西吉野小）
- 平成34年4月 学園協議会（仮称）の発足
- 平成35年4月 第3段階の統合、小学校（宇智・阿太小、北宇智小）
- ◆市立認定こども園関係
- 五條A認定こども園（五條幼稚園を中心に新築）開園予定
- 五條B認定こども園（北宇智保育所を中心に新築）開園予定
- ※整備時期は整備調査等による変更の可能性あり
- 五條C認定こども園（阪合部小学校を改修）開園予定

両基本計画については <http://www.city.gojo.lg.jp/www/contents.1530752893584/index.html> をご覧ください。

生涯学習課

文化・体育のイベントをご紹介します！

8月6日（月）から8月20日（月）までの15日間、西吉野町で賀生生スィミングプールを開園しました。市内幼児・小中学生を中心に、今年度は計303名に利用していただきました。

猛暑のため、やむなく中止となった日もありましたが、子ども達は夏の暑さにも負けず、元気いっぱいプールを楽しんでいました。来年度も継続してプール開放を行う予定です。是非お友達を誘って遊びに来て下さい。



9/1 (土) 奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭 オープニングフェスティバル

昨年開催された「国文祭・陣文祭なら」のレガシーを受け継ぎ、さらにパワーアップした各種発表が行なわれました。五條小学校・牧野小学校・宇智小学校・野原小学校の金管バンドクラブによる演奏で花を添えていただき、県内のさまざまな踊りや音楽団体による演奏などが行われました。

また、三味線アーティストの吉田兄弟、シンガーソングライターの矢井田瞳など、豪華ゲストによる演奏



9月1日（土）にシダールアリーナにて「奈良県大芸術祭・奈良県障害者大芸術祭」が開催されました。

昨年までは奈良県北部の会場にてオープニングイベントが行なわれておりましたが、今回初めて県南部の五條市を会場として開催されました。「文化の力で奈良を元気に！」を合言葉に、9月1日から11月30日までの3ヶ月間、県内各地で各種イベントが行われます。

イベントのフィナーレでは、婦人会の皆様が主導となって、会場全員による「大和総踊り」にて盛況のうちに幕を閉じました。

このイベントを契機に、今後ますます市内の文化・芸術の振興に取り組んでまいります。

次回の発行は12月の予定で、阿太小学校、宇智小学校、北宇智小学校、五條東中学校を紹介いたします。

高学年への定期考査の導入

「中一ギャップ」の大きな要素として小・中学校の勉強の仕方の違いがあります。中学校に入学してから戸惑うことのないように、6年生は1学期から「現5年生は3学期から」中学校での定期考査のスタイルを取り入れ、中学校生活へスムーズステップでの導入をはかっています。

中学校専科教員による外国語の授業（3～6年）

これからの外国語教育では、「読む」「書く」とともに「話す」「聞く」を含めた4技能が総合的に評価されます。牧野小学校では、4技能の基礎力を高めるため、小中一貫教育の取組の一つとして、五條西中学校英語科教員が3年生～6年生の外国語及び外国語活動の授業を行っています。昨年からは「Skype」による英会話レッスンにも子どもたちの将来を見据えた取組を始めています。



牧野小学校が平成 30 年度から新たに始めた取り組みの一部を紹介します！

4～6年のクラブ活動でのボランティアの方々による指導支援



これからの時代に必要とされる力の一つに、さまざまな考え方やさまざまな世代とのコミュニケーションを通じて課題解決につなげていく力があげられます。クラブ活動や放課後子ども教室では、ボランティアの方々、子どもたちの関心が高まるよう関係がより強固になることを目指しています。



牧野小学校

中之町921 電話(22)2584

【「牧小教育活動への西中教員の乗り入れ指導」】
中学校の教科専門性をもち合わせた教員が、実際に小学校に出向き、授業を行っています。英語科では3～6年生の授業を担当、体育科教員はスポーツテストの実技指導に出向きました。また、今後は社会科や理科でも授業を行います。



牧野小・五條西中 一貫教育の推進

【小中教員の相互授業見学と合同研修】
小中学校の教員間でも、校種間の授業の進め方の違いを認識し「中一ギャップ」を克服すべく、両校の全職員がお互いの授業見学を行っています。また、教科テストの作成や評価の方法をテーマにした合同研修も、夏休みに実施しました。



【小中一貫教育推進部会の整備と実施】
五條西中学校区では、今年度も『子どもの良き大人の成長』を牧小・五條西中共通の教育目標として掲げ、一貫教育を推進しています。9年間の義務教育課程全体を通じて、中学校を卒業する時の姿を小・中双方がイメージし、全体像を把握しながら教育活動を行っていくものです。

【小学生の体験入学、部活動の体験入部】
「中一ギャップ」を少しでも解消するため、本年度は3学期に3日間、牧小6年生の体験入学を計画しています。西中学校舎に通学する授業を受け、さらに部活動の体験入部も始めます。



五條西中学校

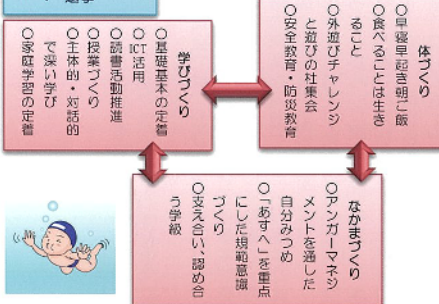
大澤町374 電話(26)2118

学校教育目標 たくましく ゆたかに

読解力を基盤に自ら考え友達の意見を聴くことのできる子の育成



あすへ
・あ挨拶
・すスリッパ
・へ返事



「ふるさと学習」
野原の地域をもっとよく知り、ふるさとに愛着をもった大人に成長していくために、小中連携のもと、「ふるさとマップ」を作成しています。小学生が学年ごとに設定したテーマに沿って、写真やイラスト入りの野原校のマップを作り出す。それをもとに、中学生が地域の方々にインタビューに行きます。小中で作成した「ふるさとマップ」を野原中学校の文化祭で発表する予定です。

「自分を律し、認め合える集団の中で、意欲的に学ぶ子の育成」
アンガーマネジメントを通して自分自身、自己コントロールや他者への思いやりの心をもつ、自らの行動に責任を持ち、協力しあってクラス作りができるよう、アンガーマネジメントを通して、意欲的に取り組む子どもを育てます。
子どもたちが毎日ランドセルの中に背負っているのは、勉強道具だけではない。という思いに基づいて各種取組を行っています。講師を招いての研修、低学年では表情シートを使い感情を豊かにする取組、中学年ではSSを中心とした人との関わり合いの適切なスキルを身につける取組、高学年ではアンガーマネジメントプログラムを用いた自己理解、適切な自己表現ができる取組等、系統立てて学んでいくことができるよう、学校全体で取り組んでいます。



表情シートを利用して今の自分の気持ちを表現します。



野原小学校

野原中3-8-38 電話(22)2523



生徒会の目標

地域の人たちに親しみやすい野中生



キャップ運動
毎年行っているベットのボットのキャップ集めを、今年度は学校だけでなく「吉野ストア」や「カルム五條」にも回収箱を置かせてもらって実施しました。保護者、卒業生、地域の方々に協力をいただいで実施しており、多くのキャップが集まっています。

小中連携「学力向上」「ふるさと学習」



野原小学校と連携して「ふるさとマップ」の作成や、ゲストティーチャーによる学習を予定しています。地域について学ぶ中で、人々の思いや願いに触れ、ふるさとに愛着や誇りをもつことを目指しています。また、小中で互いに研究授業を行い、その後の研究協議で活発な意見交換により9年間を見通した教育を進めています。

基本方針

- ◎ 確かな学力の育成
- ◎ 豊かな心の育成
- ◎ 活力ある心身の育成



野原中学校

野原中3-5-43 電話(22)2221



中庭に出現